

※今年度の派遣プログラムや  
研修テーマのレポートは、  
札幌市公式ホームページで  
ご覧いただけます。



平成29年度

# 子どもの権利推進事業「他都市子ども交流・子どもレポーター」

札幌市役所では、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」(通称:子どもの権利条例)に基づき、さまざまな場面で子どもが意見を言う機会をつくり、まちづくりに子どもの視点を活かすよう「子どもの参加」を積極的に進めています。

今回は、条例にも定められている「参加する権利」を進める取組の一環として、「他都市子ども交流」を

実施し、さらに札幌市から参加した子どもたちには「子どもレポーター」として、当日の取材と一人ひとり新聞作成のほか、子ども向け広報紙「子ども通信(第17号・平成30年1月発行)」の原稿作成にも協力してもらいました。ここでは、交流会当日の概要などとともに、子どもたちの取材及び新聞・広報紙編集会議の様子をお知らせします。

## 他都市子ども交流

### 概要 まちづくりへの“主体的な”参加

8月16日(水)、札幌市東区内の小中高校生12名と道内で最も早く子どもの権利に関する条例を制定した空知郡奈井江町の「奈井江町子ども会議」議員20名の総勢32名の子どもたちが集まり、「他都市子ども交流」が開催されました。

「わたしのまちの財産」を活かしたまちづくりをテーマに掲げ、北海道遺産「札幌苗穂地区の工場・記念館群」などの歴史を持ちながら、苗穂駅周辺地区の再開発によってまちが生まれ変わっていく札幌市東区を舞台に、施設の見学やまちの魅力発掘、まちの活性化に向けた話し合いを行いました。

市内外それぞれの子どもの視点から活発な意見交換を行い、子どもたちが考えた斬新なアイデアを、札幌市子ども未来局子ども育成部長とサッポロビール博物館長に提言するなど、地域でのまちづくりへの提案・意見を直接伝える「子どもの参加」の機会となりました。

### 内容 歴史と未来が共存するまちへ

今回の交流では、冒頭に、開催地である東区について、古くは農業や工業エリアとして発展したこと、それらの工場



群などが北海道遺産に登録された歴史のある地域であること、現在は苗穂駅周辺地区を中心に再開発が行われるなど新しく生まれ変わっていくまちで

あることなどの説明を受けました。

また、当日の取材方法や新聞編集についてのポイントなどを北海道新聞社の方に説明していただき、子どもたちもとても真剣にメモを取っていました。



### 「北海道遺産」を見て・触れて・食べる!?

その上で、子どもたちは4つのグループに分かれて、雪印メグミルクの酪農と乳の歴史館や工場、サッポロビール博物館といった北海道遺産の登録施設を巡り歴史に触れる一方で、苗穂跨線橋に立ち寄り苗穂駅周辺地区再開発エリアの見学を行い、それぞれの説明に耳を傾けながら熱心に取材していました。



昼食休憩では、これまた北海道遺産に登録されているジンギスカンを囲み、それぞれのまちの違いや取組、活動内容についての話を花を咲かせました。

### 子どもならではの柔軟な発想

意見交換の際には、グループごとに各自の取材結果を踏まえながら、まちづくりの観点から「自分たち(子ども)ができること、これからしたいと思うこと」「周りの大人と協力したらできそうなこと」、「自治体や大人にやってもらいたいと思うこと」の3つを軸に意見交換を行いました。



まちの魅力を伝えるためには、「SNSなどを使用し、人を集める」「まちの歴史や見所、気になることを調べて、名所を決める」「積極的に工場見学などをし、自分のまちの産業の特徴や良いところを知る」「ボランティア活動に参加する」「地元のスポーツチームを応援する」、また、「施設などでのイベント時に、(子どもたちが自分のまちの魅力について)発表する場を設けてもらい、知らせる」「動画で紹介したり、講演会を実施する」「子どもと大人が協力して、工場などを宣伝するイベントを行う」「スタンプラリーを企画する」など、子どもたちが主体的にまちづくりに関わろうとする意見が多く出されていました。



提言を受けた子ども育成部長からは「みなさんの声や考えに直接触れることができ、とても嬉しかったです。『子どもの参加』を進めるためには、本日のように、みなさん一人ひとりが、自分の意見をきちんと伝えていくことが重要だと思います。市役所では、行政へ子どもからの意見を反映させる取組を進めているので、今後も積極的に意見を聴かせてください」とメッセージが送られました。

## 「子ども通信」編集会議



札幌市からの参加者には、8月18日(金)にも集ってもらい、北海道新聞社の方の協力を得ながら、自分たちが取材した情報をもとに、新聞と広報紙の原稿を作成してもらいました。

それぞれが感じたことを思い思いに発言し合いながら、記事を仕上げてくれました。

今回の事業に参加してくれた「子どもレポーター」のみなさん、本当に疲れさまでした!



## 参加した子どもたちの感想など

今回いろんな所を見学し、札幌についてくわしく改めて学んだコトがあって、とても楽しかったです。

東栄中学校2年  
安樂 桜依 レポーター

ふつうならできない体験ができてうれしかったです。新聞作りはかなりむずかしかったです。

苗穂小学校4年  
新田 悠介 レポーター

この近くには、たくさんの施設があることがわかった。これからも名所を発見したい。

苗穂小学校6年  
新田 耕平 レポーター

私は、今回の見学を通して、街の歴史や新しく建設される建物など、より深く知ることができ、良い経験になりました。

東栄中学校3年  
菊地 春香 レポーター

とても貴重な体験が出来て良かったです。自分が住んでいるまちの魅力を大切にしたいと思いました。

東栄中学校3年  
佐藤 陽菜 レポーター

知らないことや驚いたことをたくさん学び、普段考えないようなことも考えることができてよかったです。

開成中等教育学校5年  
高橋 拓矢 レポーター

牛にゆうは、まいにちのんでいます。うしのちちをしぼったらおわりだとおもっていました。

苗穂小学校5年  
白石 裕己 レポーター

今回、工場へ見学に行ったが、自分が知らない事がたくさんあり、面白かった。友達に自慢したくなるような豆知識がたくさん得られたので今回の経験はとても貴重だと思った。是非、皆さんも機会があれば工場へ見学しに行った方が良いと思う。

開成中等教育学校4年  
中村 匠吾 レポーター

牛についての話が、おどろきました。探検でメモをたくさんとる事をがんばりました。楽しかったです!

苗穂小学校5年  
伊藤 千乃愛 レポーター

小学生の目線は低いから、細かいことに気付けるのだろう。高校生の目線は高いから物事の全体を捉えられるのだろう。では今度はお互いに目線だけを交換したら物事はどう映るのか。今度はこのような意識で取り組みたら、と思いました。

開成中等教育学校5年  
小野 月彦 レポーター

今回編集するにあたって、提出までにとても長い時間が掛かってしまったのが残念でした。反省します。

開成中等教育学校5年  
清水 亮多 レポーター

ふだん飲んでる牛乳にこんな秘密があるなんて、思ってたなかった。これからもっと札幌市の子供たちと奈井江町の子供たちに知って欲しいと思った。

東栄中学校2年  
佐々木 彩名 レポーター

